

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立伏見小学校 【日時】平成29年2月23日（金） 【対象】4年生 児童130名
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 国語科、総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 （ねらい）	・オリンピックミュージアムでの体験を通して、オリンピック・パラリンピック競技への理解を深め、冬期間における体力向上の取組のきっかけづくりとする。 ・夢の実現に向けて精一杯努力し続けている人との出会いを通じ、子ども自身の将来についての考えを深めていく。 ・オリンピック・パラリンピックの選手が周りの人々の温かい支えによって、困難を乗り越えて夢を実現している事実から、支えてくれる周りの人々への感謝の気持ちをもちつつ、自分の目標に向かって努力し続けようとする素地を養う。
5 取組内容	冬季オリンピック・パラリンピックについての調べ学習を行い、競技や障害などへの理解を深めていく。札幌オリンピックミュージアムに訪れて館内を見学したり、実際に選手の講話を聞いたりする。札幌オリンピックミュージアムに訪れて、体験したことや調べたことを、自分の目的に沿って、まとめる。そして、自分の夢の実現に向けて、努力できる場所は何かを考え、今後の生活に生かそうとする素地を養う。 ○指導計画【8時間扱い】 総合的な学習の時間 6時間 国語科「わたしの研究レポート」 2時間 ①平昌オリンピック・パラリンピックについて調べる。 ②ゲストティーチャーによる講話 ③オリンピックミュージアムへの訪問 ④まとめ

6 主な成果	・平昌オリンピック・パラリンピックの開催時期と重なり、子どもたちの興味関心が高まっていた。 ・「なぜ、オリンピックとパラリンピックが行われているか。」という課題をもち、開催する意義や競技の種類など、意欲的に学習を進めることができた。実際にオリンピックミュージアムを見学することによって、事前に調べた内容を確認したり、深めたりすることができた。 ・オリンピックから努力を重ねた話や周りに支えられた話などを直接聞き、子どもたちの生き方に目を向けることができた。 ・総合的な学習の時間として単元を構成し、事前に学習した道徳「希望と勇気、努力と強い意志」の内容や、国語科「わたしの研究レポート」と関連させて理解を深めることができた。 ・クミュージアムの見学当日、スキージャンプの選手が大倉山ジャンプ競技場を使って、練習を行っていた。実際に競技の見学を通して、迫力を肌で感じる貴重な体験となった。 
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	・オリンピック・パラリンピック教育を総合的な学習の時間として、教育課程に位置付ける際に他教科との関連を工夫する必要がある。 ・ミュージアムの見学では、オリンピックの講話後、館内を見学した。活動時間が短かったため、子どもたちの体験の時間を十分に確保することができなかった。今後、検討が必要である。
9来年度以降 の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。